

相野谷中だより

紀宝町立相野谷中学校発行
令和2年 11月25日
第 12号

文化祭を開催しました

『笑顔 輝け』のテーマのもと、11月14日(土)に相野谷中学校文化祭を開催しました。今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染予防のため、時間を短縮、参加者の制限、ふるまいの中止など例年とは違う形での開催となりましたが、たくさんのご家族の方に観に来ていただきありがとうございました。

生徒たちは、いろいろな制約のある中でも、今年の文化祭をよりよいものにするため、自分たちで考え取り組んでいました。

舞台発表の練習をしていく中で、「どうすればわかりやすく表現できるか。」「観てもらう方にも参加していただくには、どうすればよいか。」など毎日試行錯誤する姿がありました。当日の発表を観て、最終のリハーサルからも変更している場面があり、最後の最後までよりよい発表を目指しているところに感動しました。

生徒たちはこの文化祭の取組を通して、「自ら考え行動すること」、「仲間と協力して作り上げていくこと」などたくさんのご経験することができました。特に2年生は、自分たちの発表だけでなく、生徒会役員として企画から準備、最後の片づけまで、全校生徒の先頭に立ち、指示を出し多くの役割をこなしていました。

この文化祭を通じて、生徒一人ひとりが大きく成長できたと思います。



招待演奏 熊野水軍太鼓



1年生「ぼくたちわたしたちに今できること
～そして当たり前ができるように～」



2年生「将来について考えた
～職場訪問学習から学んだこと～」



3年生「マイクロリズムで学んできたこと
～Our School Trip～」



全校合唱「地球星歌 ～笑顔のために～」



作品展示

防災学習を行いました

11月21日(土)に土曜授業の中で、講師として三重大大学より川口 淳 准教授に来ていただき、防災学習を行いました。

大里地区自主防災会の方々、学校運営協議会の委員さん、保護者の方々も生徒と一緒に参加していただき、川口先生から防災についての話をしていただきながら、災害対応カードゲーム(クロスロード)を行いました。

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で神戸市議員が実際に直面した「災害対応のジレンマ」をカードゲーム化したものです。設問に対し Yes か No か決めるだけのシンプルな内容ですが、災害対応時の状況では、究極な選択を迫られることがあります。

決まった正解のない質問に、生徒たちは自分で Yes か No を選択し、自分の意見をしっかり述べていくことができました。また、自分とは異なる意見や価値観の存在に気づき、少数意見に耳を傾けることの重要性などを知れたと思います。

グループの中に地域の大人の方が入り、子どもだけの意見ではなく地域の方の考えを知れたことは生徒にとって、とてもよかったと思います。

参加していただいた、自主防災会の方からは「大変よい学習ができた。」「子どもたちの意見で自分のほうが考えさせられた。」など話していただきました。

川口先生からは、「災害はいつ起こるかわからないので防災力を上げておくこと。今日、地域の人や友達の意見を聞いたように、コミュニケーションをとることが大切。いざという時、ベストを考えられる人になってほしい。今日の経験をいかしてほしい。」との言葉をいただきました。



授業研究会を行いました

11月19日(木)に、1年生の社会科、数学科の授業、2年生の技術・家庭科の授業を公開し授業研究会を行いました。

1学期は、新型コロナウイルス感染防止の関係で、本校の教員のみでの研究会でしたが、今回は、三重県教育委員会紀州教育支援事務所、町教育委員会、紀宝町内の小学校の先生方にも授業をみていただき、ご指導を受けました。

参加者からは、「どの授業もICT機器を使用し、教材を分かりやすく提示してる。」「個人で考える時間とペアやグループで話し合い考えを深める時間が取れている。」などの評価もいただきました。また、「的確な指示の出し方」、「生徒の発表の仕方」に課題があるとの指導もいただきました。

今回指導いただいた内容や課題については、すべての教科で取り組み、「深い学び」、「基礎学力の定着」の実現を目指していきます。

